



ドミニカ共和国とルーマニアの ホストタウン・松戸市

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国と相互交流を図る自治体として「ドミニカ共和国」と「ルーマニア」のホストタウンに登録されている松戸市は、様々な分野で両国と交流を深めてきた。その集大成として、東京2020大会に向けてドミニカ共和国はテコンドー、ルーマニアは陸上競技の選手・関係者総勢15名（ドミニカ共和国6名、ルーマニア9名）が松戸市を訪れ、市内で事前キャンプを実施。

ドミニカ共和国テコンドー選手団は、柿ノ木公園体育館で4日間事前キャンプを行い、日本の気候や時差に体を慣らしながら徐々に強度を上げ、本番に向けた最終調整が行われた。

ルーマニア選手団は、走幅跳・やり投げ・砲丸投げ・競歩の選手が運動公園陸上競技場や柿ノ木公園体育館・ユーカーリ交通公園・21世紀の森と広場でコンディショニングとトレーニングを16日間に行ったり、ホストタウンからのおもてなしとして、感染症対策を施した歓迎セレモニーを開催。コロナ禍で選手・関係者の行動制限や感染症対策など厳しい制約の中、両国ともオンラインで松戸市長や市内学生、在日各国の大使や大使秘書などと交流し、互いにエールを送り合った。

松戸市の皆さんのおもてなし溢れる対応に感謝を伝えたいです。このパンデミックが終わったら、またお会いできれば嬉しいです。



Dominican Republic



本土寺での交流の様子(2018年:左)と事前キャンプでの練習風景(2021年:右)

おもてなしをありがとうございます。松戸市に来ることができ、感謝しています。



Romania



七草マラソンでの交流の様子(2019年:左)と事前キャンプでの集合写真(2021年:右)

東京2020オリンピック 聖火リレー点灯セレモニー

7月3日、松戸中央公園で聖火リレーによるトーチキスや最終ランナーとして走行予定だったハッサン・ナワールさん(松戸市立第五中学校卒)がステージ上の聖火皿に聖火を灯す点灯セレモニーが行われた。

ハッサンさんは中学3年生だった2年前、全国大会で100mと200mの2冠を達成した、次世代を担う期待のアスリートだ。とても緊張しましたが、皆さんに見守られて楽しく参加できました。今回はリレー走者での参加でしたが、次は選手としてオリンピックに出場したいです」と将来への意気込みを語ってくれた。



聖火ランナーを務めたハッサン・ナワールさんと田中拓進(たなか たくしん)さん(右下)

まつど 輝人伝

東京オリンピック レスリング女子50kg級 金メダリスト

須崎 優衣 選手

すさき ゆい / 1999年6月30日生まれ
松戸市出身(松戸市立六実第三小学校卒、松戸市立六実中学校出身)
JOCエリートアカデミー*修了
現在早稲田大学在学中
*日本オリンピック委員会が有望選手にエリート教育を施す全寮制の育成事業



小学1年生で自身の運命を変える「レスリング」に巡り合った1人の少女。レスリングを始めて父と姉の影響を受け競技を始める。と瞬く間に上達し、全国大会で優勝を重ね、次第に注目を集め始めた。この頃から周囲に「オリンピックで金メダルを獲得」と宣言していたこの少女こそ、東京オリンピック金メダリスト・須崎優衣選手だ。中学2年生のときにJOCエリートアカデミーに入校。国内外の大会で全勝し、中学生で唯一東京オリンピック強化選手に選出された。高校生になってもその快進撃は止まらず、大学進学後も数多くの大会を制してきた。2017、2018年の世界選手権で連覇した彼女だが、オリンピック選考がかかる2019年の

世界選手権では国内選考会で敗退。「人生の一番のどん底に落ちた」と当時を振り返った彼女は言う。一時はオリンピック出場への道が途絶えかけたが、2019年、世界選手権で女子50kg級の日本勢がメダルを逃し、代表争いは振り出しへ。同年12月の全日本選手権で優勝し、東京オリンピックアジア予選の出場権を獲得。この予選において、4戦全勝で東京オリンピック代表を勝ち取ったのだ。開会式では日本選手団の旗手を務め、試合では全4試合で無失点のテクニカルオール勝ちを収めた。圧倒的な強さを見せつけ、見事に有言実行を果たし、多くの感動を届けてくれた。



(C)時事

WINNING COMMENT

たくさんの応援ありがとうございました。レスリングは地元千葉県の幕張メッセにて試合が行われたので、緊張感も幾分和らぎ、日頃の練習の成果が発揮できたのではないかと思います。私の原点である松戸レスリングでは、基礎をはじめ多くの事を学びました。たくさんの方々に支えられて、金メダルを獲得することができました。コロナ禍での開催にご尽力頂いた皆様に感謝致します。ありがとうございました。 須崎 優衣



(C)AFP=時事



陸上男子走高跳
戸邊 直人 選手
となべ なおと / 専修大学松戸高校卒

予選を見事に突破し、日本選手としてはミュンヘン五輪以来49年ぶりの決勝進出を果たした戸邊選手。惜しくも入賞はならなかったが、松戸ゆかりの選手が歴史に名を刻んだ。

提供 / 日本航空



レスリング女子フリースタイル76kg級
皆川 博恵 選手
みながわ ひろえ / 松戸市在住

3位決定戦に進出し、レスリング女子最重量級では北京五輪以来13年ぶりのメダルを賭けて試合に臨んだ皆川選手。惜しくもメダルには及ばなかったが、大怪我を乗り越えての挑戦は多くの人に勇気を与えてくれた。

©クリナップ

 佐々木 康裕 選手 5人制サッカー(ブラインドサッカー)男子 ファンタス千葉SSC 松戸ウォーリアーズ所属	 加藤 昌彦 選手 シッティングバレーボール 男子 松戸市出身(第五中学校卒)	 羽賀 理之 選手 車いすラグビー 男女混合 松戸市出身(第三中学校、専修大学松戸高校卒)、2016年市民栄誉賞受賞(リオパラリンピック銅メダリスト)	 大山 晃司 選手 アーチェリー男子(W1) 松戸市出身(牧野原小学校、専修大学松戸中学、高校卒)	 竹内 望 選手 卓球 女子団体(WT9-10) 松戸市内在住	 竹守 彪 選手 卓球 男子シングルス(MS11) 松戸市内在住(粟ヶ沢中学校卒)	 高田 千明 選手 陸上女子走幅跳(T11) 聖徳大学 客員教授
--	---	---	---	---	---	--

*パラリンピックは9月5日まで開催。